

令和7年度 全国学力・学習状況調査



詳しくは
こちら▼



全国で4月に実施された令和7年度全国学力・学習状況調査における本市の結果（概要）の一部をお知らせします。調査の結果は、学力の特定の一部であり、児童生徒の学力の全てを表すものではありません。結果を把握・分析することで、今後の教育に関する課題を明確にし、その改善を図ることに役立てていきます。

問合先 学校教育課 ☎(275)6434

小学校

全国学力・学習状況調査（小学校） 実施日：4月17日 対象：6年生・7校 479人
※問題は「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力」を問う内容です。

設問別

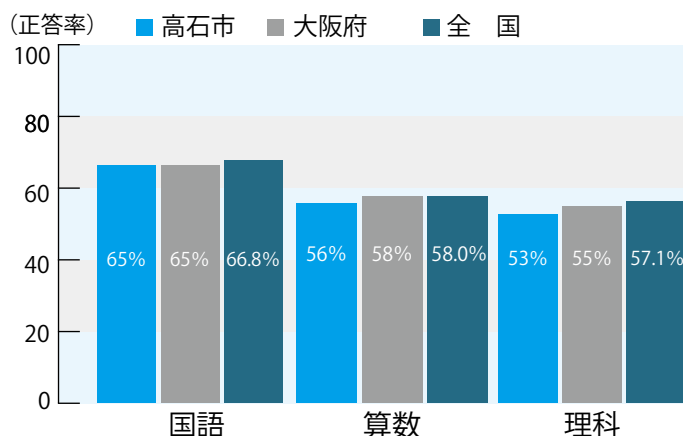
国語では、「言葉の特徴や使い方」の領域については、全国平均を上回っており、成果がみられました。また、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の各領域については全国平均を下回りました。目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝え合う内容を検討することができていない児童が多いことがわかりました。

算数では、「図形」の領域については全国平均と同等であり、「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の領域については全国平均を下回りました。伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数値を見いだすことや、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述することができていない児童が多いことがわかりました。

理科では、「生命を柱とする領域」について、設問の内容から、差異点や共通点を基に新たな問題は見いだしているものの、その内容を適切に表現することができていない児童が多いことがわかりました。

正答率

国語は大阪府平均と同等、全国平均を下回っています。算数・理科は大阪府平均、全国平均ともに下回っています。



中学校

全国学力・学習状況調査（中学校） 実施日：4月17日 対象：3年生・3校 462人
※問題は「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力」を問う内容です。

設問別

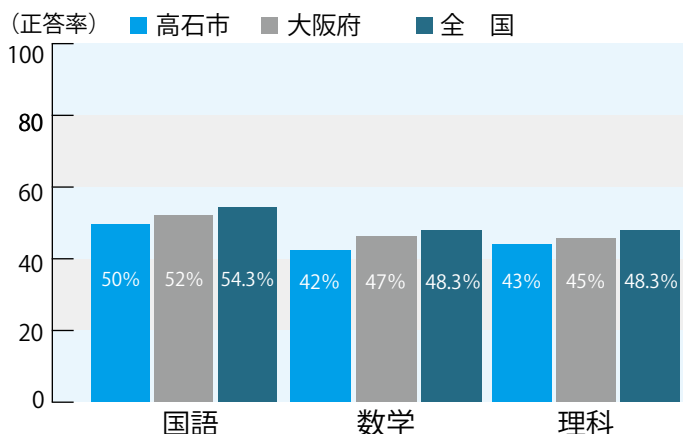
国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域について課題がみられました。自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができていない生徒が多いことがわかりました。

数学では特に「関数」「データの活用」の領域について課題がみられました。事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることや目的に合った用語を用いてデータの活用ができていない生徒が多いことがわかりました。

理科では、「生命を柱とする領域」「地球を柱とする領域」について課題が見られました。身近な事象について、知識として定着していない生徒や、予想が反映された振り返りから、探究の過程の見通しについて分析・解釈ができていない生徒が多いことがわかりました。

正答率

国語・数学・理科いずれも、大阪府平均、全国平均ともに下回っています。



全国学力・学習状況調査の結果より

学力について、国語科において「言葉の特徴や使い方」の領域については、成果がみられました。しかし、文章の構成を捉えて要旨を把握することや自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にしたり、表現を工夫したりすることに課題がみられました。算数・数学科において小学校のグラフの読み取りや計算の仕方を問う問題では、成果がみられました。

一方で、増減を判断したり、事象の傾向を捉えたりしたことを数学的な表現を用いて説明することに課題がみられました。理科において、「事実的な知識を身に付けているか」を問う問題について、成果がみられた部分がありました。

しかし、「事象の差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうか」を問う問題や「考察をより確かなものにするために知識及び技能を活用して、説明できるかどうか」を問う問題で課題がみられました。日々の学習活動の中で、課題がみられた項目に重点を置き、計画的な学習指導を充実させていきます。

質問紙調査について、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」については、小学校で改善がみられます。学級活動や道徳教育等、様々な教育活動を通して「いじめは絶対に許されない」という意識が向上するような取組みを進めてきた成果と考えられるため、引き続き、小中学校で取組みを進めていくとともに、いじめに対する児童生徒の悩みや不安の早期発見・支援の推進をしていきます。

「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」や「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」については、小中学校ともに全国を上回りました。

各校で「課題解決に向けて主体的に学ぶ」授業づくりにむけて、様々なツールを活用した学習活動の研究を進めてきた成果と考えられるため、引き続き取組みを進めていきます。

課題解決 に向けて

今回の結果を受けて、課題解決のための取組みを各学校において実施し、教育委員会においても、重点事項を設定し、指導主事による指導助言を行っていきます。ご家庭でも、より一層のご協力をお願いします。



更なる学力の向上と 学習状況の改善のために

たかいし教育ビジョンの推進

市教育委員会では、令和6年度より「たかいし教育ビジョン（高石市教育振興基本計画）」を策定し、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を展開しています。

今後とも、学校での教育を中心に家庭や地域などが連絡しながら教育力を向上させ、「確かな学力」を育むことをめざした教育の推進とともに、「豊かな心」「健やかな体」を育むことにも重点をおき、『生きる力』と『夢』を育む総合的な教育活動を行う学校園づくりを進めていきます。

▶高石市三つの朝運動（あいさつ・朝食・読書）

朝のあいさつ・食事・読書の大切さについてまとめたリーフレットを配付しています。朝食をとることで体・心・脳によい影響があります。

▶携帯電話・スマートフォンの使い方

家庭でのルールづくり・学校への持ち込み禁止等、使い方についてまとめたリーフレットを配付しています。

▶デジタルドリル（児童生徒に配付されたタブレット端末から接続）

個別学習に最適なツール「ラインズeライブラリ」が入っています。ご家庭で積極的にご活用ください。

▶学べるリンク（こどものためのページ：府教育委員会が配信）

小・中学校全学年の児童生徒が、放課後学習や家庭学習において自主的に学習することができる教材です。各学校でも活用しています。

